

広島ドラゴンフライズバスケットボールの試合観戦と応援

中国遊技機商業協同組合福利厚生委員会(金原 正委員長)では、令和3年度から福利厚生事業活動の一環として、バスケットボール試合観戦をスタートし、4回目となる今年度は1月11日土曜日に、広島サンプラザホールで開催されたバスケットボール男子B1リーグ西地区6位の地元広島ドラゴンフライズ対西地区5位の長崎ヴェルカ戦の試合を組合員、社員、家族等48名が観戦しました。

前日の試合で、昨年3月から離脱していた寺嶋良選手が膝の怪我からの復帰戦となり、速攻からのレイアップで約10カ月ぶりの得点を決めておりましたが、この日の試合にも参加したことから、13人のメンバー全員が揃って熱戦を繰り広げ、順位が一つ上の長崎ヴェルカに82対70で勝利し、5位に浮上しました。

また、会場では、選手時代には広島で活躍し、「ミスタードラゴンフライズ」や「広島のレジェンド」で知られた、朝山正悟新ヘッドコーチも観客と一体となり、会場内は大いに盛り上がりを見せ、場内の4,230人の観衆とともに、参加した組合員等は白熱した試合に興奮し、熱戦が繰り広げられた会場を後にしました。(下記写真参照)



ゴールを狙う中村拓人選手



長崎ヴェルカへ攻める選手たち



朝山ヘッドコーチの似顔絵を掲げる観客



観客に答える朝山新ヘッドコーチ